

悪夢からの逃走



東郷 潤

遠い星のお話です。異民族を殺した人々が、「自分たちが殺したのは人ではなく動物」という妄想を作ろうとしています。彼らは悪いことをすると地獄で火に焼かれると信じていました。

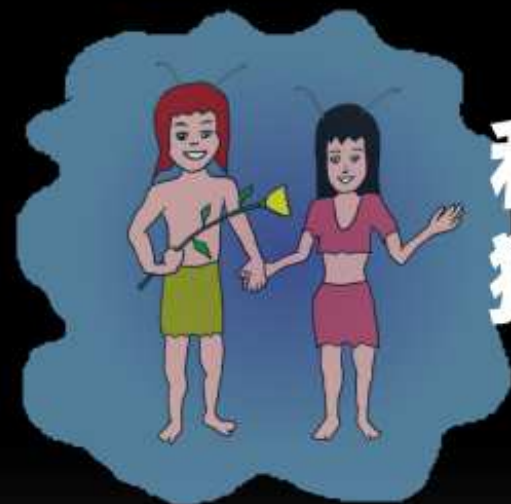


地獄に落ち
たくない！
俺たちは、
悪くない
んだ！



俺たちが殺
したのは、
猿だ、猿だ、
猿だ…

でも残念ながら、簡単に人は動物には見えません。



私たちって、
猿に見える？



ひええええ～！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！

仲間がいたぞ！

は、早く！ 奴らが
動物だという証拠を
見つけるんだ～！！

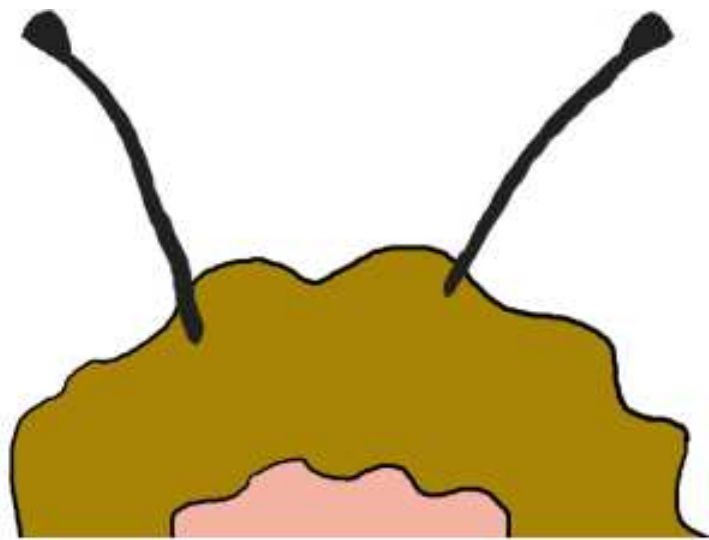
キャー！！





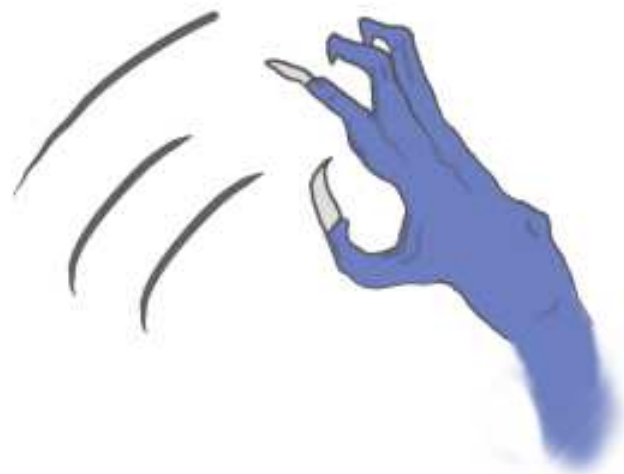
**く、くそ！ 歯の形は
俺たちと全く同じだ！**

**だ、ダメだ。
肌の色も変わらない！**



**見ろ！ 触覚の形が三角
っぽい！ 俺たちのは、
もう少し丸みがあるぞ！
やったぞ！**

触覚が証拠だ。こいつらは動物だ～！



・ ・ ・ これでもう、自分たちは悪では
ありません。人殺しとして罰を受け
けることもなく、地獄に落ちる心配
も無いのです！

よ、良かった

た、助かった

ダ、ダ

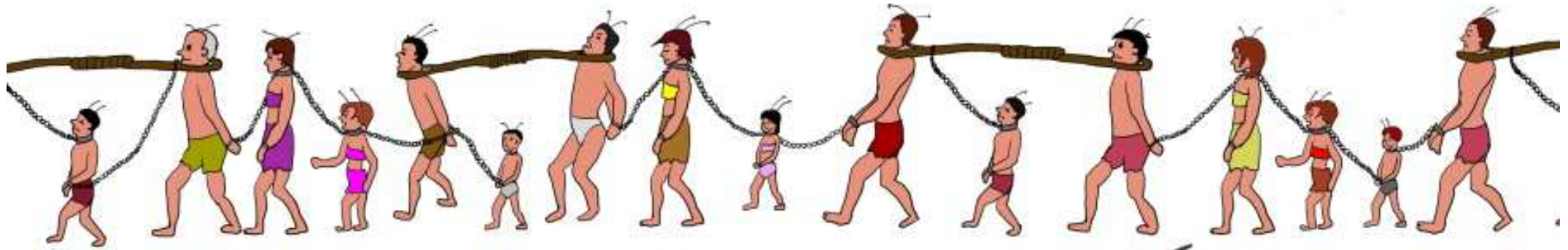


はあ、はあ

さて、人は**認識に基づいて行動**します。

触覚に丸みがある人々（以下、丸人
とします）**だけが本物の人間で、触
覚が三角っぽい人々**（以下、三角人

とします) は動物だと信じたなら、
それ以降、三角人を動物として扱う
こととなるでしょう。



こうしてこの星では、大規模な奴隷制度が生まれました。なんと数百年にわたって1千万人を超える三角人を誘拐し、強制労働をさせ、商品として売買し、レイプし、監禁し、拷問し、殺したのです。

それでも、三角人が人だという事実は変わりません。人を動物だと錯覚し続けるというのは、決して容易なことでは無いのです。・・・でも人を動物だと思えなくなれば、同じ人間を誘拐し、売買し、レイプし、

**監禁し、拷問し、強制労働をさせ、
殺したこととなってしまう。**



お、俺たちは
動物じゃない...

ひえええ〜！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！

この悪人め！

たとえば三角人は動物
じゃなくても野蛮人
なはず。俺たちが
文明化したんだ！



野蛮人だという
証拠を探せ！

そういえば、あいつら、
ほとんど裸だったじゃないか。



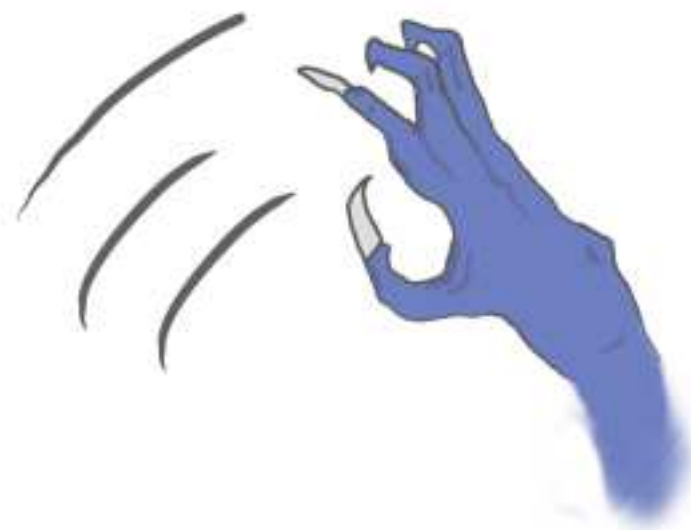
もし三角人たちがもともと暑いところに住んでいたのであれば、薄着なのは当たり前なのですが・・・

そういえば、あいつら、
こんなものを
食ってたぞ



**住む場所が違えば、食べ物も変わる
ものですが・・・。　　どうやら、そ
れどころでは無さそうですね。**

**俺たちとは服も食い物も違う。
だから野蛮人だ～！**



・ ・ ・ なんとか、自分たちが奴隷にしたのは、野蛮人だと信じることに成功しました。

よ、良かった

た、助かった



さて人は認識に基づいて行動します。
丸人たちが「三角人を征服したのは、
野蛮人を文明化するため」という妄想を信じたなら、それ以降も、三角人たちの文化を野蛮なものと認識することになるでしょう。そして自分

達の文化を三角人たちに押しつける
こととなるでしょう。言葉も、宗教
も、家族制度も、子供の保護の仕方、
性のタブー、医学の倫理、政治体制、
犯罪の基準、食文化 等々全てに関
して、です。

野蛮人の寺など
ぶち壊せ！



この星では、文明化のためと信じた丸人たちの手で、三角人の子供たちを親元から強制的に引き離すということすら行われたのです。

**やめてー！
私の赤ちゃんを
返して！！**



**お前ら野蛮人
には、親になる
資格はない。
俺たち文明人が
育ててやる**

むろん、三角人の文化にも素晴らしいものがあります。丸人たちが自分達の文化だけが進歩していると、いくら思い込もうと努力しても、それが間違っているという事実は変わりません。「三角人たちを征服したの

は文明化のため」という妄想を信じ
続けることは、決して容易では無い
のです。

文明化してくれなんて、頼んでないわ



ひええええ～！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！



だ、誰か、三角人は
価値ある文化を作る
ことなど出来ない劣
等人種だと証明して
くれ〜!!!

人々の貴重な文化を破
壊する悪人
め!

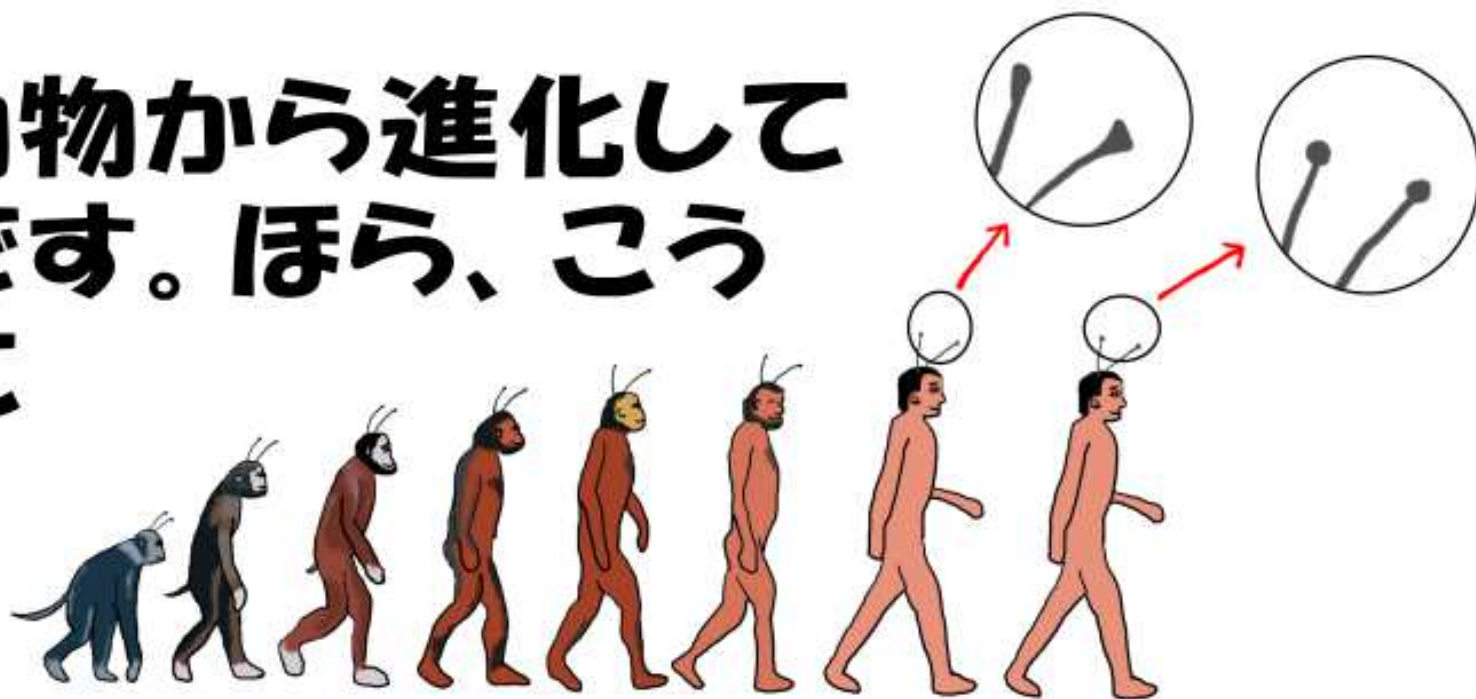


**かしこまりました。私たち、科学者に
お任せください**



**ただし、研究
の予算は、
はずんで
くださいね**

人は、動物から進化して
きたのです。ほら、こう
いう風に



猿から三角の職種を持つ三角人
へ。そして一番、進化している
のが、丸い触角を持つ我々、
丸人なのですよ

**ちなみに、国語のテストをしてみました。
丸人の平均点は、90点です。一方で
三角人に全く同じテストをさせたら、
全員が0点でした。**

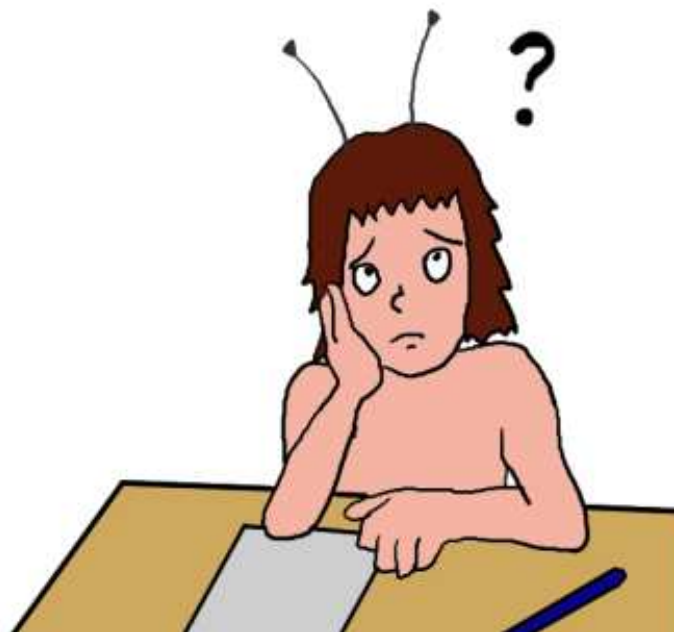


**これこそが、我々が
優越している証拠
なのです**

すげー、簡単だ

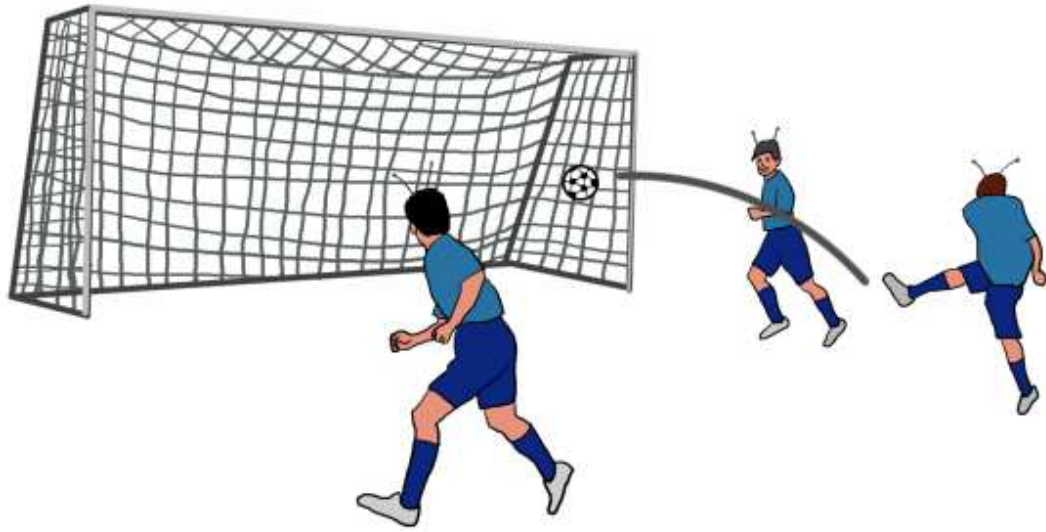


**何が書いてあるんだ？
知らない言葉だ。**



**スポーツもそうです。たとえば、サッカー。
丸人と三角人に試合をさせたら、
100対0で丸人の圧勝でした。
これこそが、丸人が優越している
証拠です！**





**この人たち、
なんでボールを
蹴っている
んだ？**

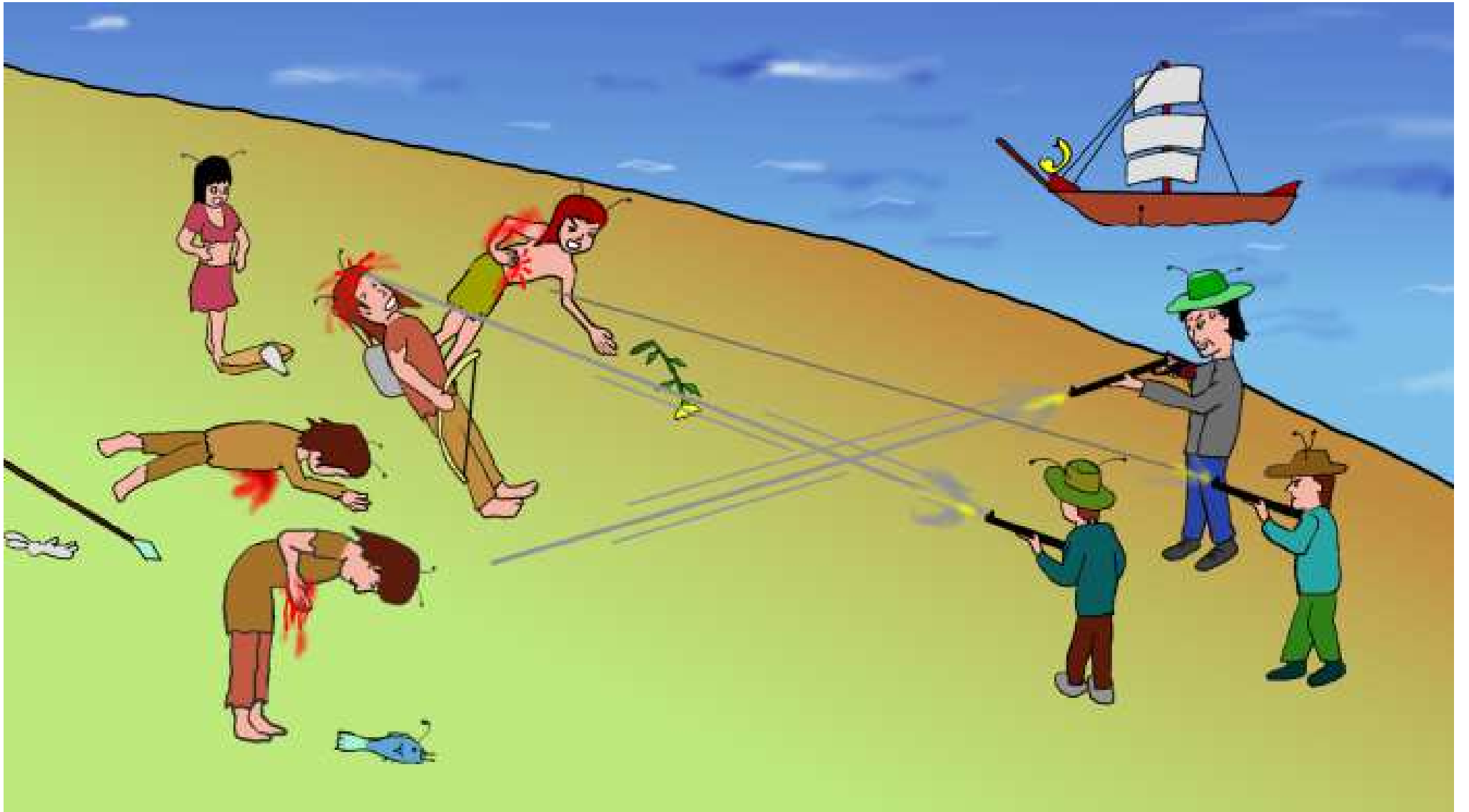
さあ？



**戦争もそうです。丸人は三角人
との戦争で、これまで百戦百勝です。**



**弱肉強食が自然
界の掟です。
三角人は滅びる
ことが定められた
劣等人種なのです。**



こうして、人種の違いは進化の差だとする優生学が発達しました。

三角人が進化が遅れた劣等人種 であることは、科学的事 実であります



科学者のお墨付きを得て、丸人たちは大いに安堵しました。

さて、人は、認識に基づいて行動します。「三角人は劣等人種だ」と認識した丸人たちは、丸人と三角人との

恋愛や結婚を禁止にしました。もし劣った人種との間に子供を作れば、人類の進化に逆行してしまうからです。

彼を連れて行かないで！
私たち、愛し合っているのよ！

目を覚ませ！
パパ、
離して！



丸人の娘
に手を出
すとはな

三角人の
くせに！



しかし、この星の三角人が劣等人種だというのは妄想です。動物だということも、野蛮人だということも妄想です。いくら優生学が妄想を支持しようと、当然、それに気づかされるときもあるでしょう。



ひええええ～！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！



お前らなんて、
見たくない！

お前らの声も、
聞きたくない！



三角人が近くにいれば、姿を見ることも声を聞くことも出来るので、三角人への妄想が壊れてしまう危険があるのです。ではもし三角人を遠くに隔離してしまえば、どうでしょう？

お前らは、目障り
なんだよ



**丸人たちは、多くの三角人を強制的に
移住させ、居留地に隔離しました。**



遠くに隔離できない場合でも、都市の中に専用の居留区が作られ、レストランや学校やバスや病院等も丸人用と三角人用で区分されました。丸人用の施設に間違っって入り込んだ三角人は厳しく罰せられたのです。

もちろん、三角人たちが賢くなっては、彼らを野蛮な劣等人種だとする妄想を続けることが難しくなってしまう。当然、三角人への教育は禁止、もしくは最低レベルのものに制限されました。

ええ？ おじさん、
こんな絵本も
読めないの？



字は読め
ないんだ

人種への妄想は、教育を通じて子供たちにも伝えられます。社会システムも、それを前提として構築されます。三角人が劣等ではないという主張は、反社会的で非科学的で違法な悪いこととされました。

**三角人の解放の前に、
まず自分を解放しろよ**



**牢獄でもう
30年だろ**



こうしてこの星では人種差別が延々と続きました。

さて、人は認識に基づいて行動します。三角人が野蛮で劣等であると認識した丸人たちは、数百年にもわたって、三角人たちを一方的に攻撃し、

**征服し、支配したのです。野蛮人の
文明化と人類の進化のために。**



**その結果、三角人の無数の命が奪われ
れました。民族ごと絶滅させられた
三角人も少なくはありませんでした。
血を流したのは、何千万人なのか、
何億人なのか、正確な人数は誰にも
分かりません。**



それでも三角人は劣等人種でも猿でも野蛮人でもありません。そして中には真実に気づく人もいるのです。

三角人も我々と同じ
人間じゃないか？



ひえええ～！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！

ふざけるな！

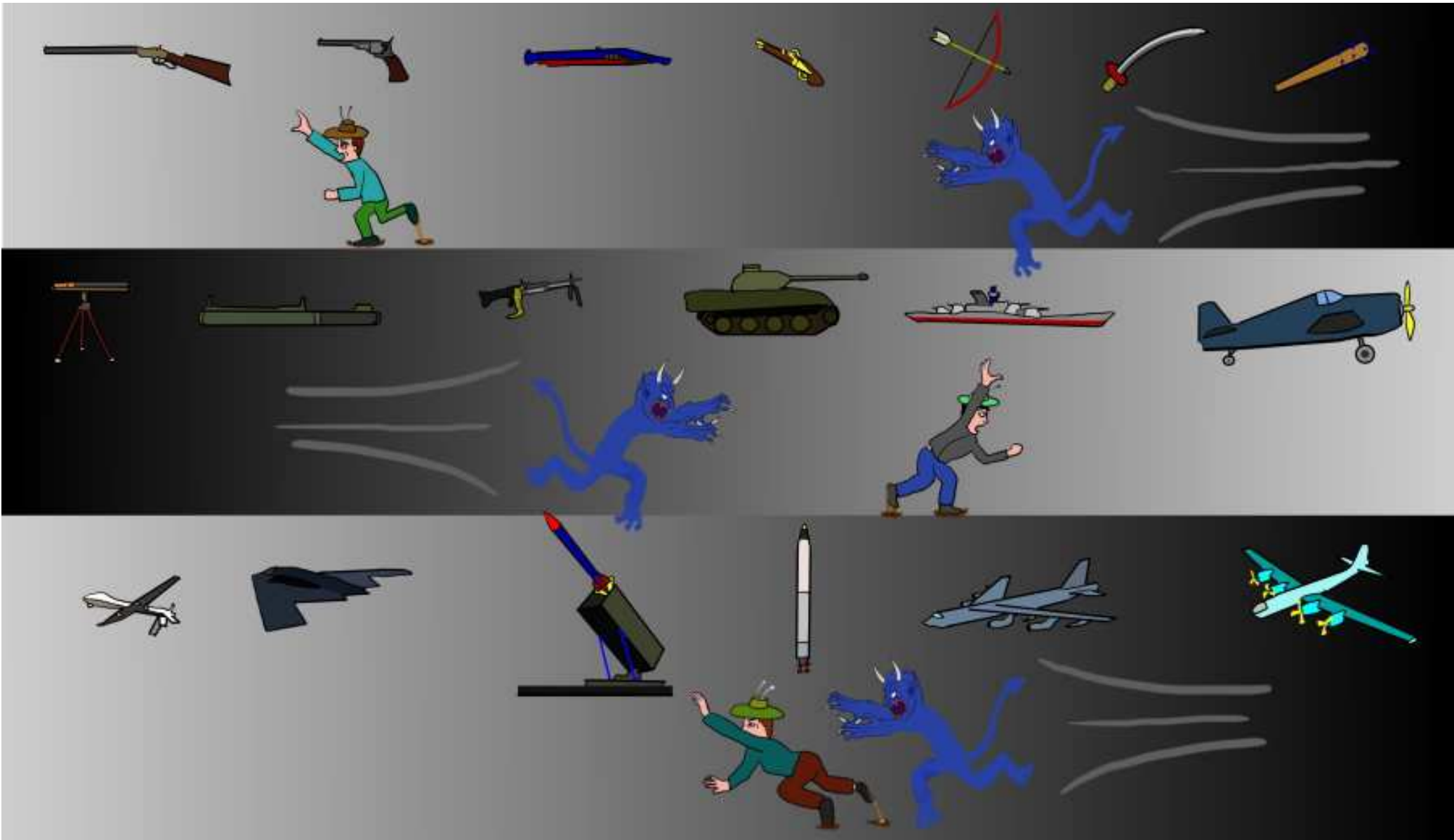
殺すぞ！！



相手が自分よりも弱ければ、怯えて退散するでしょう。

逆にもし、相手の方が強ければ脅かせません。それでは自分を正当化出来ません。・・・そこで妄想に固執する多くの丸人たちは、取り憑か

れたかのように強さを追い求めました。





三角人も我々と
同じ人間だ！



ひええええ～！

このままじゃ、俺たちは
悪人になってしまうよお！

それでもまた、つぶやく人が出てくるでしょう。だってそれが事実なんですから。

ふざけるな！

殺すぞ！！



でも、いくら脅そうと事実は事実です。



三角人も・・・

だ、黙れ〜!!!



あとがき —絵本「悪夢からの逃走」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構で

す（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2014